

令和4年度 公共工事における 市産品の使用状況に関するアンケート 集計結果

対象：当初契約金額が500万円以上（税込）の工事
544件（令和3年度 549件）

回答：387件（令和3年度：441件）

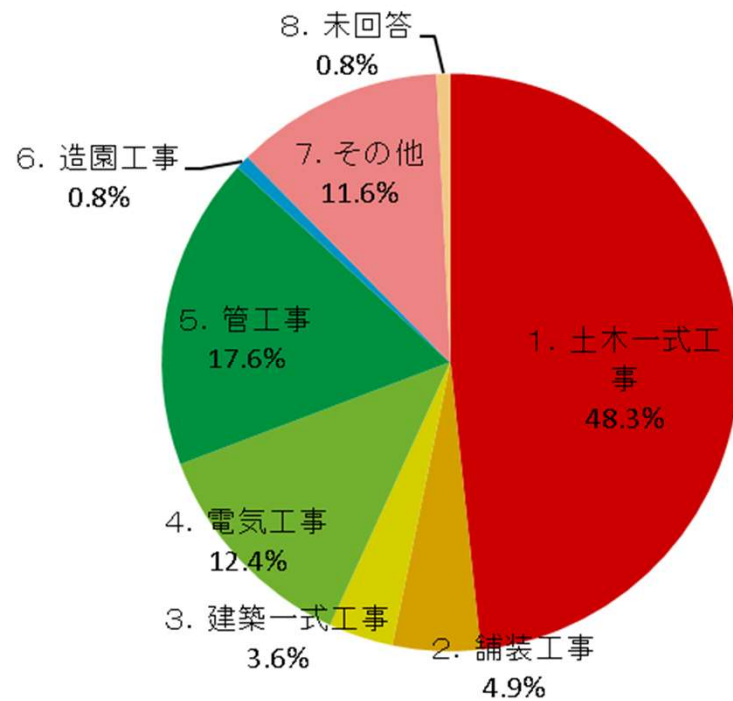
回収率：71.1%（令和3年度：80.5%）

期間：令和4年4月～令和5年3月

問1：今回受注した工事の業種は何ですか？

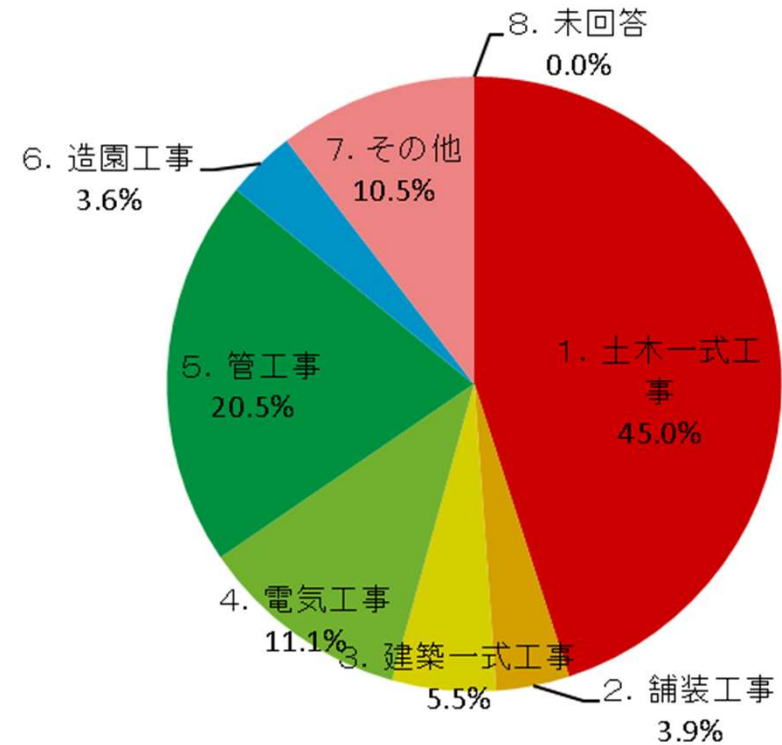
令和4年度

n=387



令和3年度

n=441

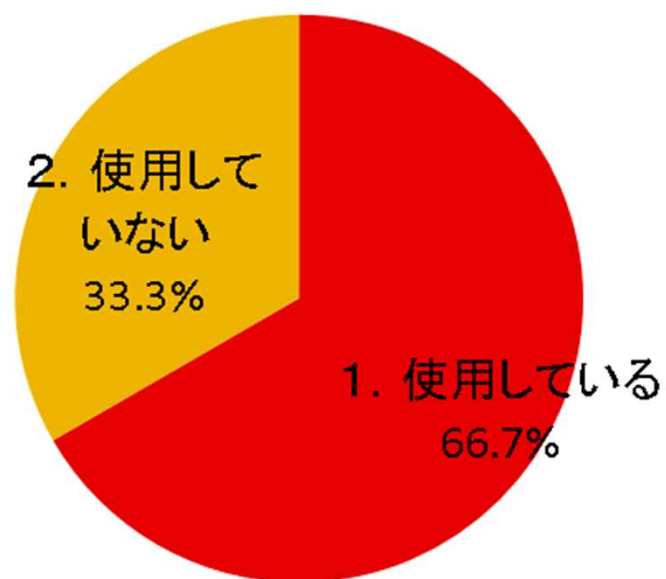


・公共工事の発注で最も多いのは「土木一式工事」である。
続いて、管工事、電気工事、舗装工事、建築一式工事、造園工事、の順となった。

問2：今回の受注工事で市産品を使用していますか？

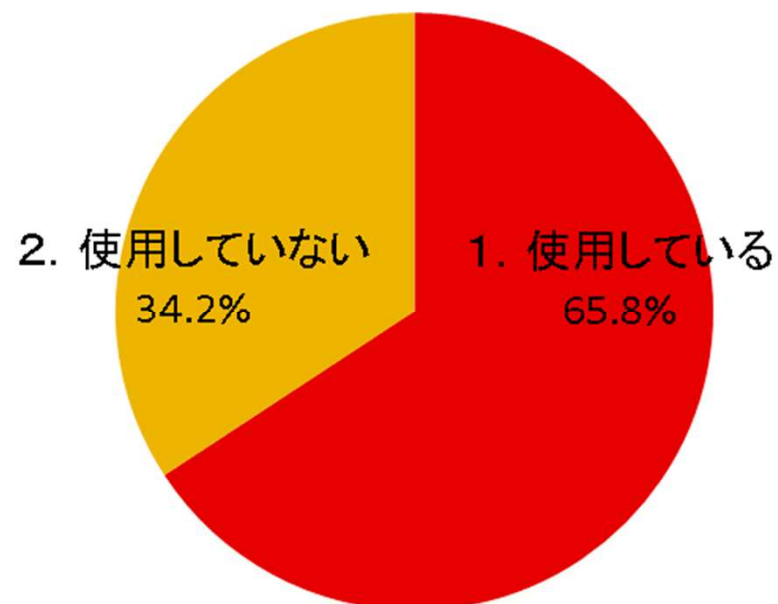
令和4年度

n=387



令和3年度

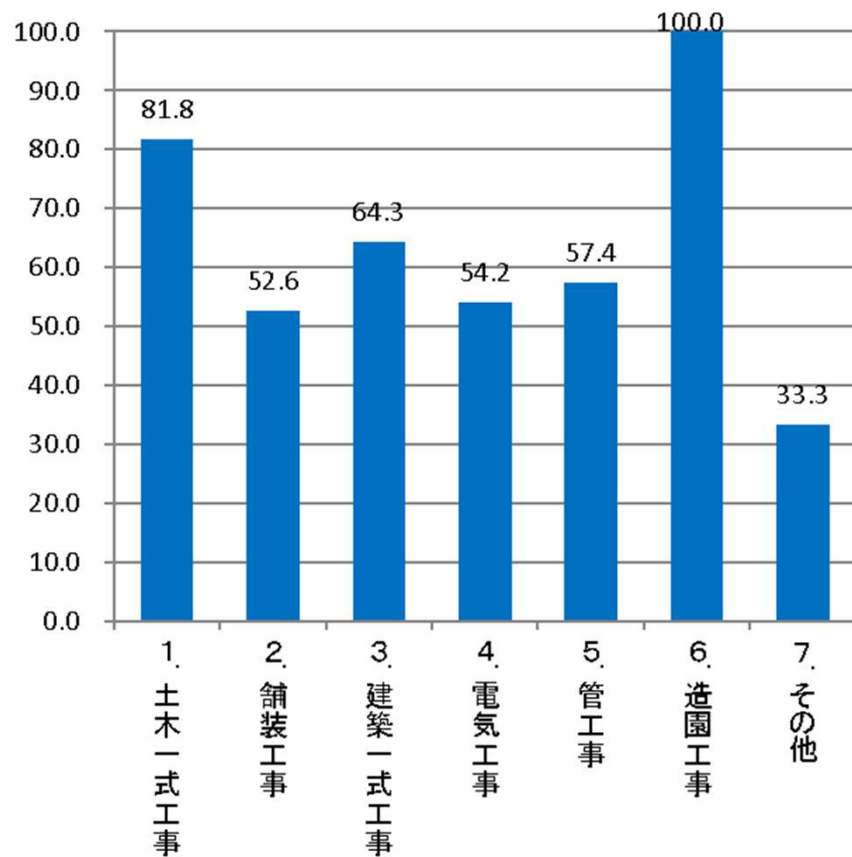
n=441



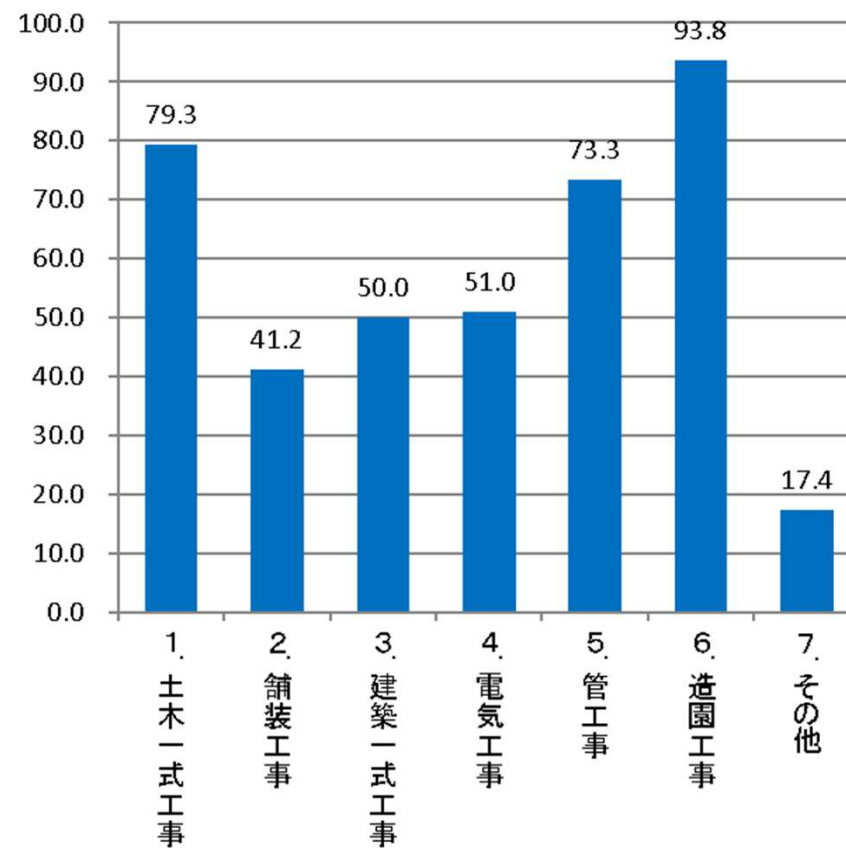
- ・66.7%の工事で市産品を「使用している」と回答があった。
- ・市産品の使用率は昨年度よりわずかに上昇した。

【業種ごとの市産品使用率】

令和4年度



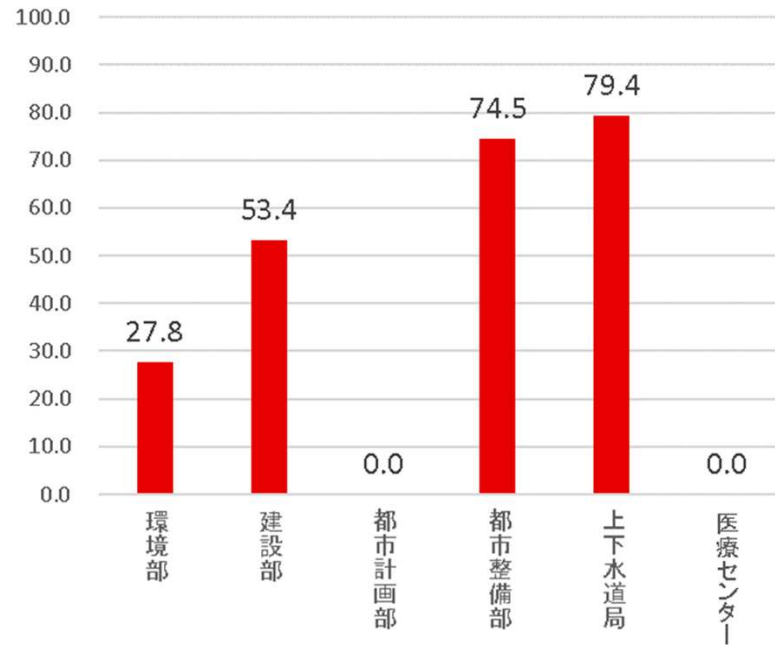
令和3年度



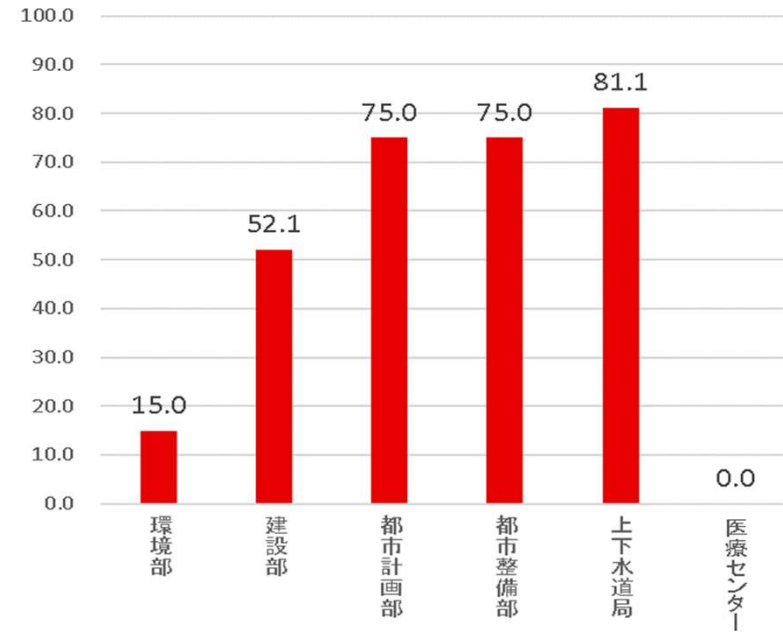
- 土木一式工事の使用率は80%を超え、高水準で横ばいに推移した。
- 管工事の使用率は下落したが、それ以外の業種の使用率は全て上昇した。

【部局別の管轄工事に対する市産品使用率】

令和4年度



令和3年度

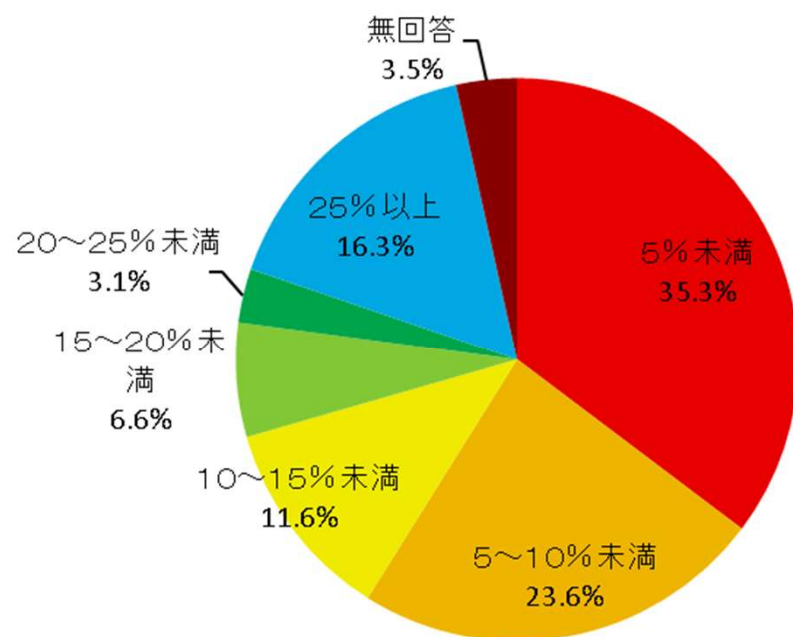


- 上下水道局、都市整備部での使用率は70%超の高水準でほぼ横ばいに推移した。建設部、環境部での利用率は上昇した。
(赤山歴史自然公園事業が終了したため都市計画部は0%となった)

問3：使用した市製品の部材等購入費に占める割合はどのくらいですか？

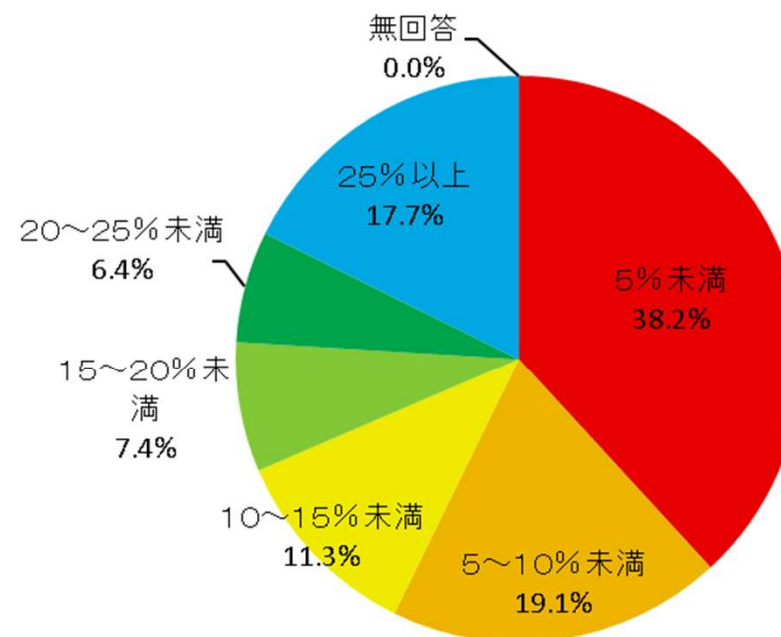
令和4年度

n=258



令和3年度

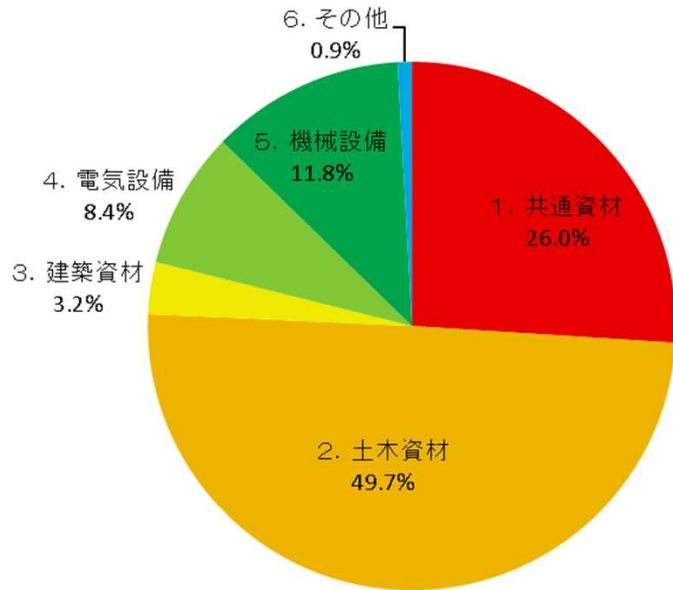
n=283



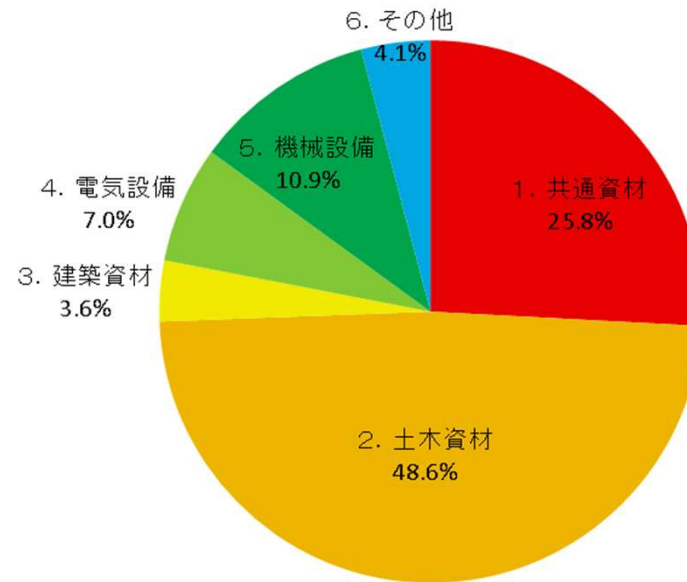
- ・「5%未満」の回答が一番多く、次いで「5~10%未満」であった。
- ・「25%以上」使用しているとの回答が約2割を占めている。

問4：使用している市産品の資材は何ですか？（複数回答可）

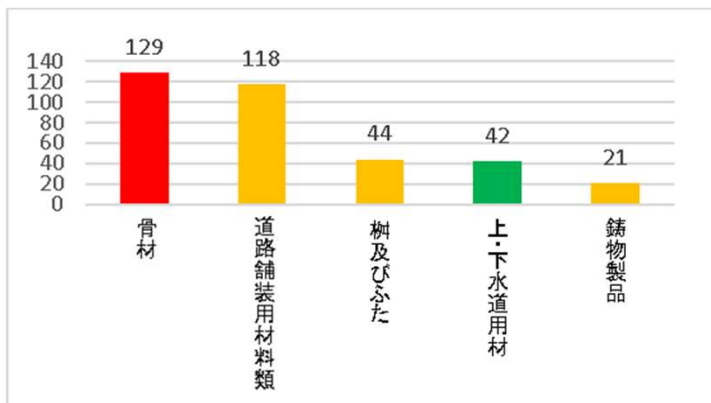
令和4年度



令和3年度



【資材ごとの使用回数<上位5種>（令和4年度）】

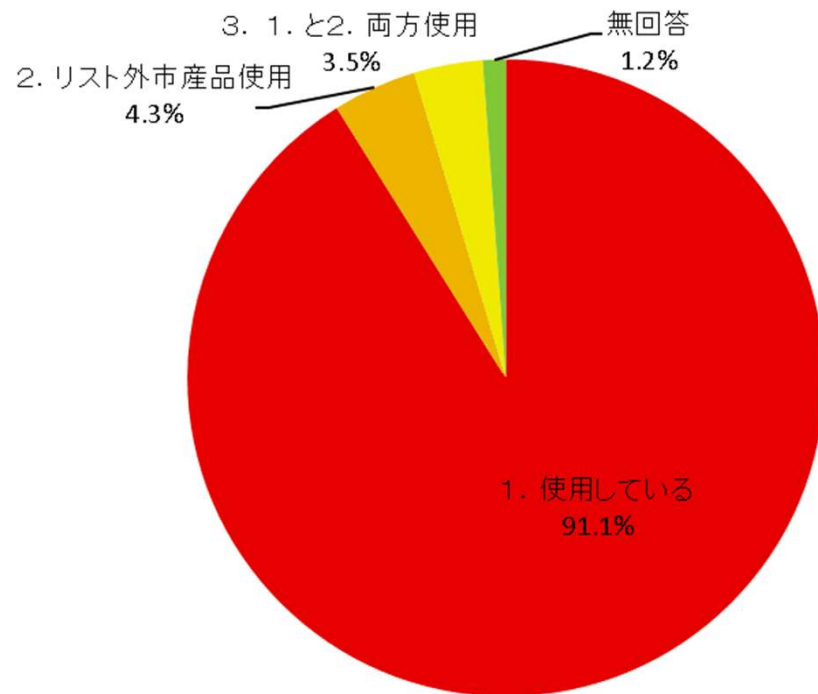


- 一番多く使われているのは、「土木資材」であり、使用部材全体の49.7%を占める。
- また、「土木資材」の中では、「道路舗装用材料類」が多く使用されている。
- 2番目に多く使用されている「共通資材」の中では、「骨材」が多く使用されており、全資材のなかで最も使用されている。

問5：「市産品企業・製品リスト」に掲載されている製品を使用していますか？

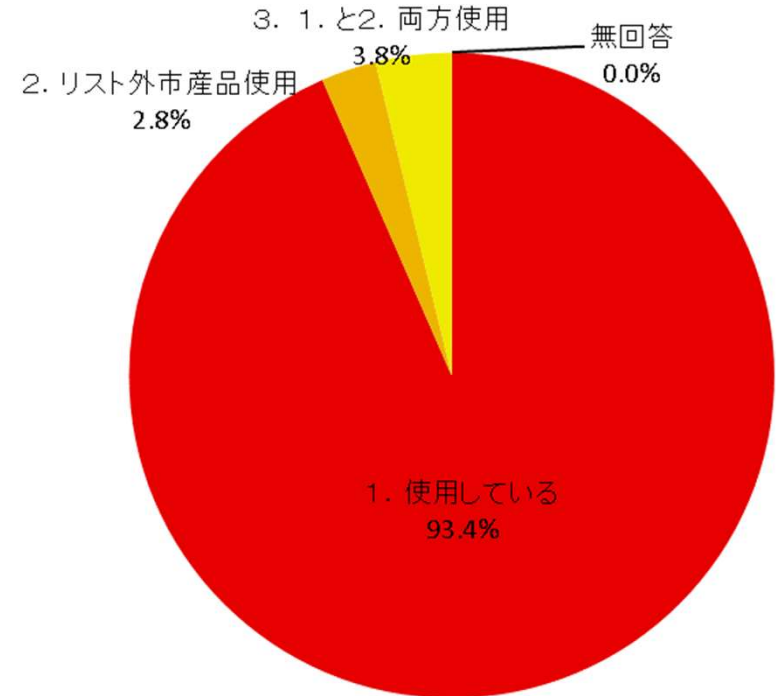
令和4年度

n=258



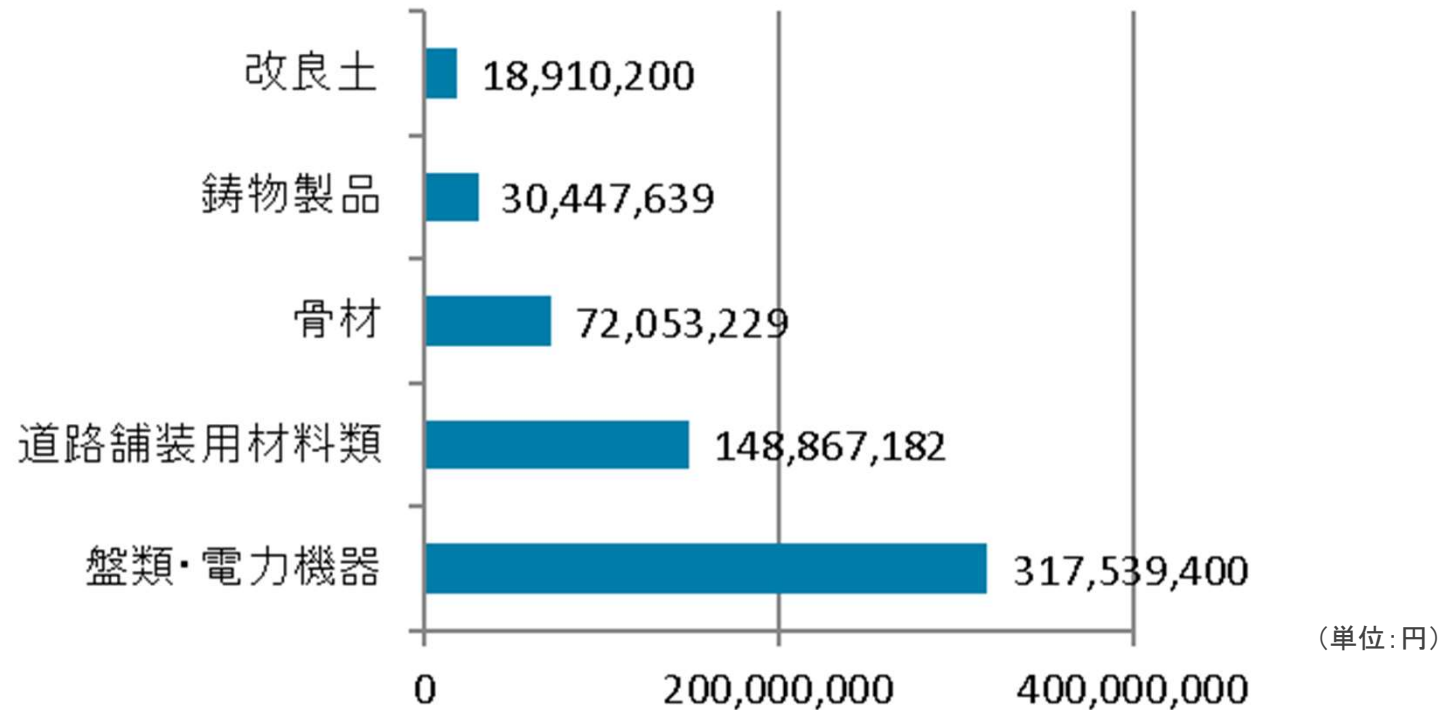
令和3年度

n=289



- ・市産品企業・製品リストの使用は9割を超える。
⇒リスト外の市産品については、リストへの登録を促す必要がある。

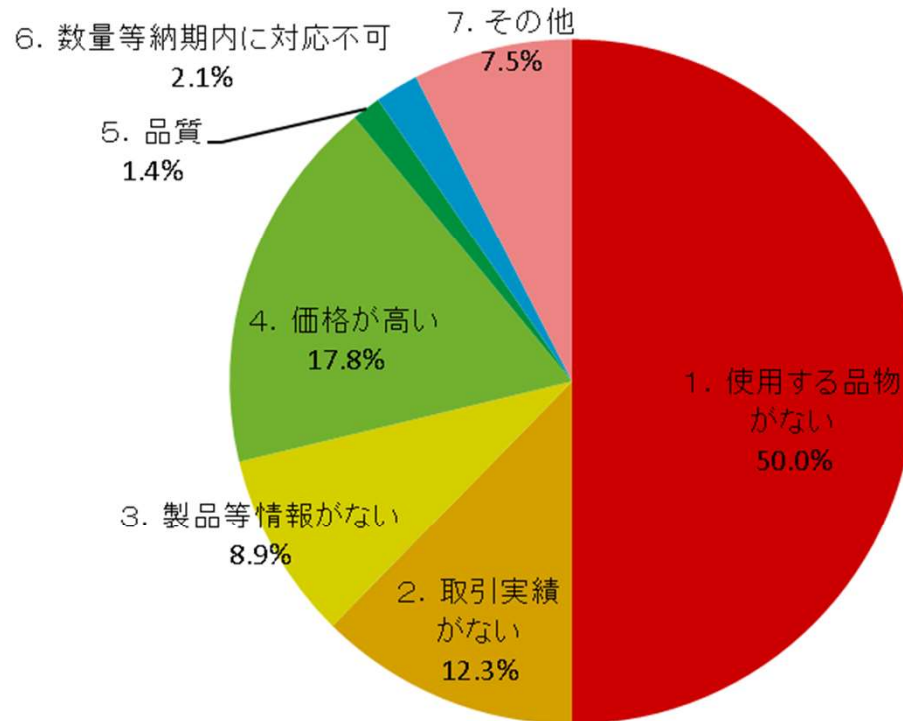
【市産品への使用金額について】



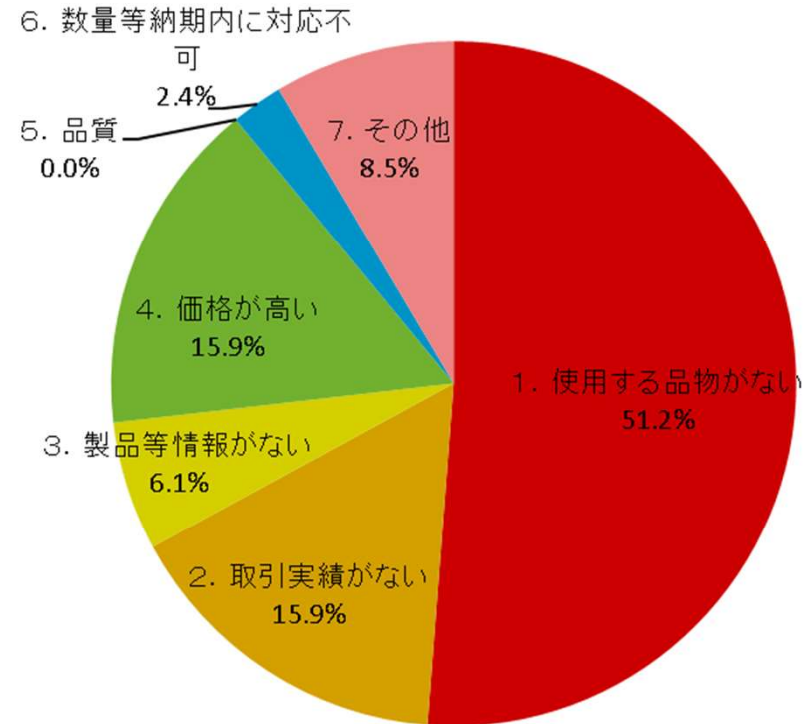
- ・市産品全ての資材に使用された金額は、720,644,277円。
うち卸売資材は4,018,313円。
- ・資材ごとの使用金額上位5種は上記のとおり。
盤類・電力機器が、317,539,400円と最も使用金額が高い。

問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

令和4年度



令和3年度



- ・使用しなかった理由として一番多かった回答は、「使用する品物がない」であった。
- ・また、「取引実績がない」が減少し、「価格が高い」「製品等情報がない」が増加した。

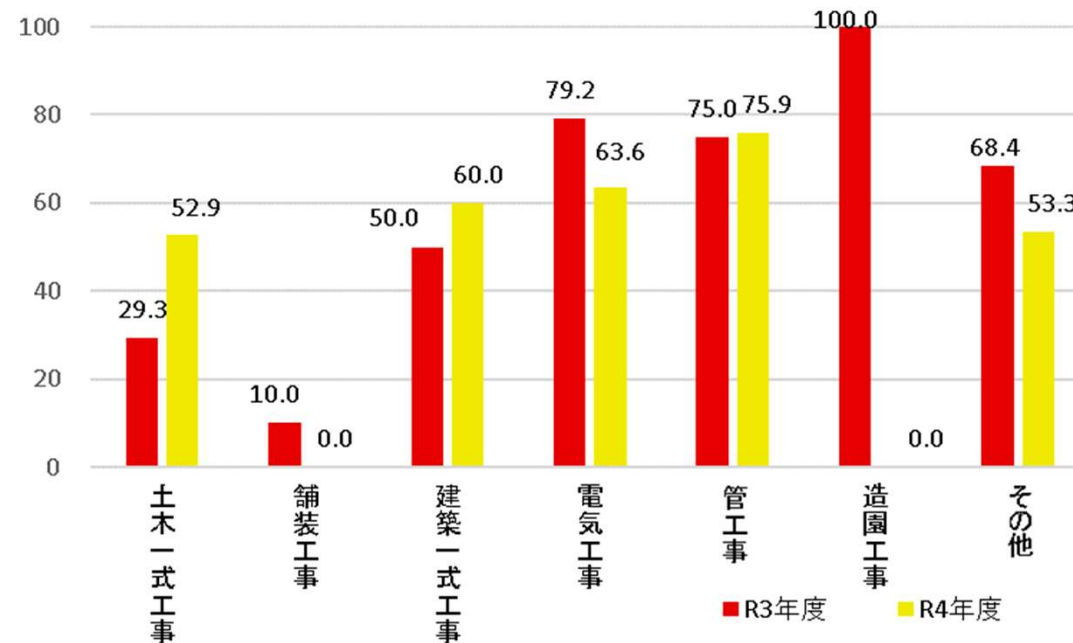
問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「使用する品物がない」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和3年度】 51.2%

【令和4年度】 50.0%

-1.2P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「使用する品物がない」と回答した割合は前年度比1.2ポイント減
- ・令和4年度は「管工事」「電気工事」「建築一式工事」の割合が高かった。

問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

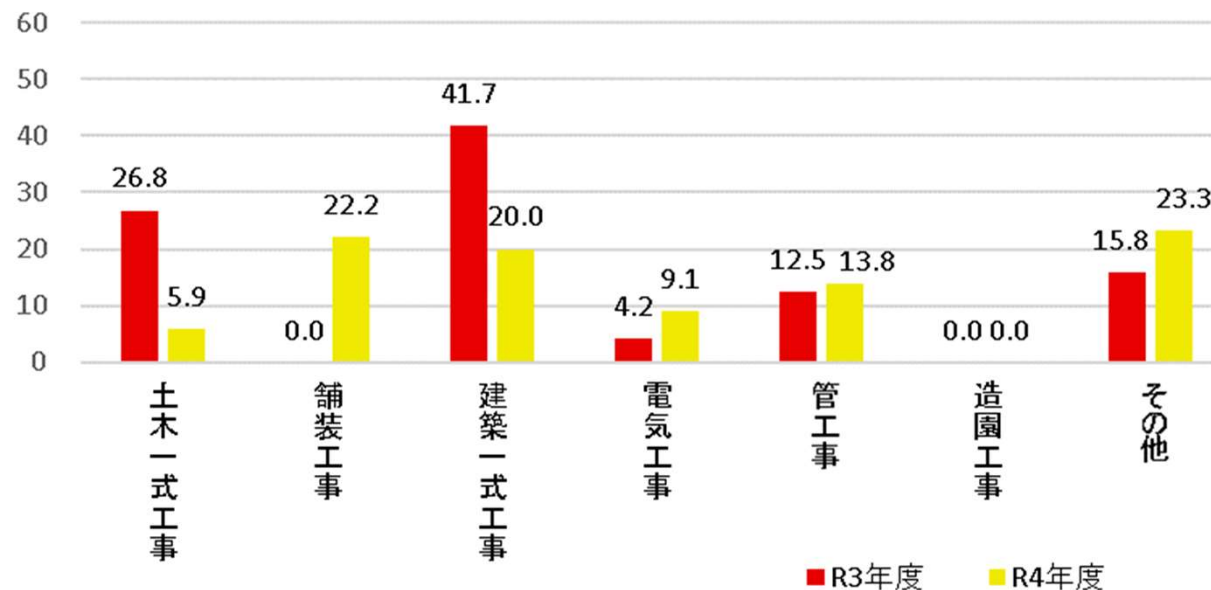
「取引実績がない」と回答した業種別割合
の前年度比較

【令和3年度】 15.9%

【令和4年度】 12.3%



-3.6P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「取引実績がない」と回答した割合は前年度比 3.6ポイント減。
- ・「建築一式工事」の割合が高い。

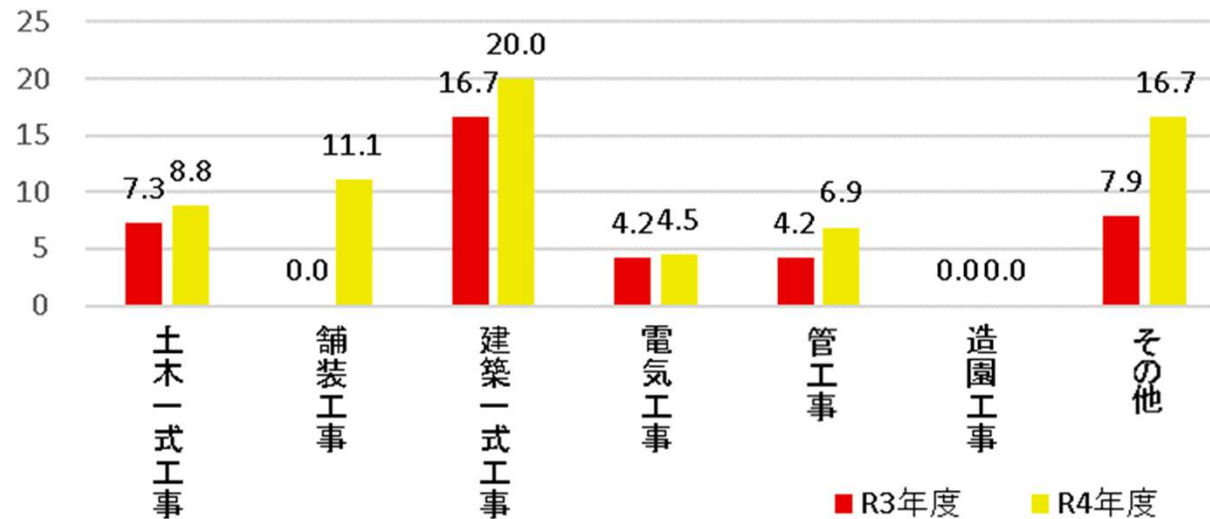
問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

「製品等情報がない」と回答した業種別割合の前年度比較

【令和3年度】 6.1%

【令和4年度】 8.9%

+2.8P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「製品等情報がない」と回答した割合は前年度比2.8ポイント増。
- ・「建築一式工事」において割合が大きく増加した。

問6：市産品を使用しなかった理由は何ですか？（複数回答可）

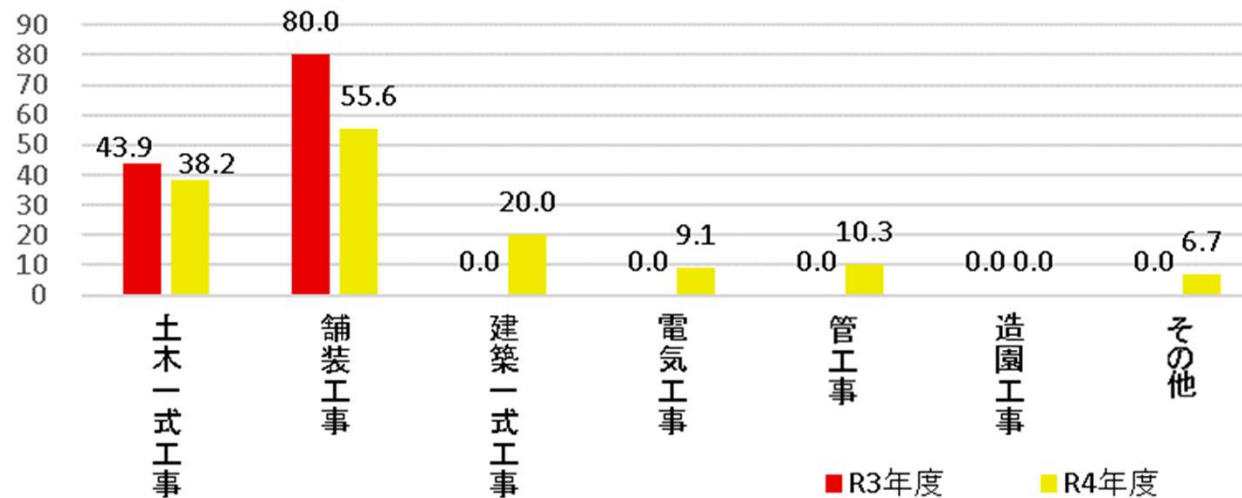
「価格が高い」と回答した業種別割合
の前年度比較

【令和3年度】 15.9%

【令和4年度】 17.8%



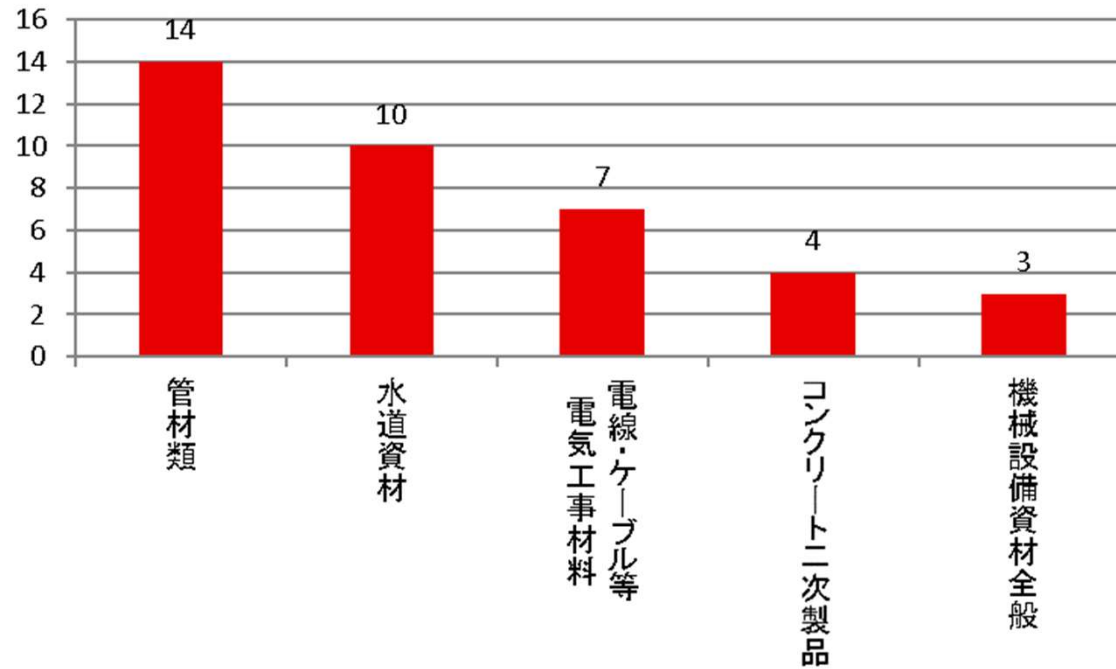
+1.9P



※市産品を使用しなかった企業のみ調査対象

- ・「価格が高い」と回答した割合は前年度比1.9ポイント増。
- ・「土木一式工事」と「舗装工事」において、依然として高い割合がみられる。

問7：どんな品物が市産品にあれば利用したいですか？

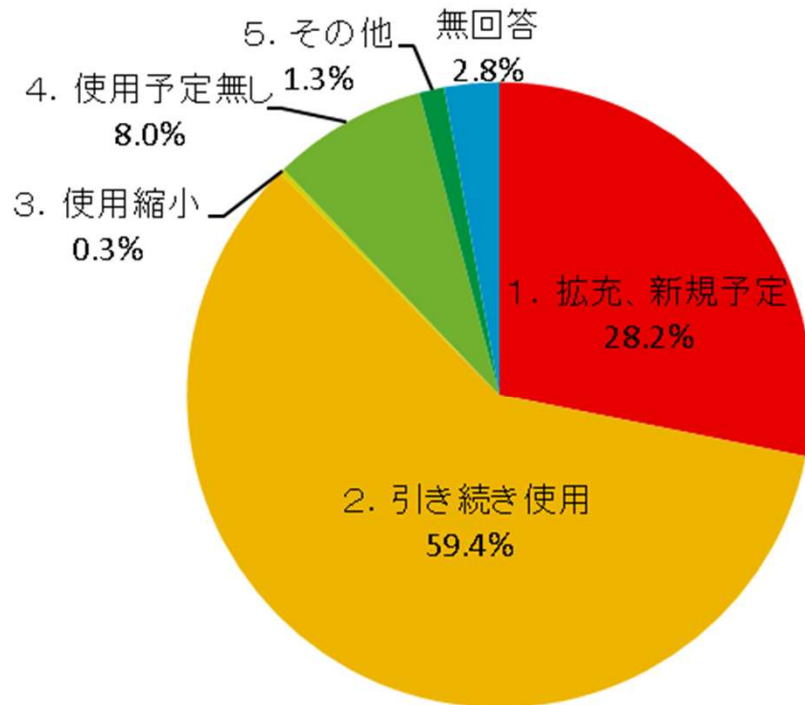


- ・最も回答が多かったのは管材類（14件）
次いで、水道資材（10件）という結果になった。

問 8 : 今後、市産品の使用を拡充、又は新規に使用する予定はありますか？

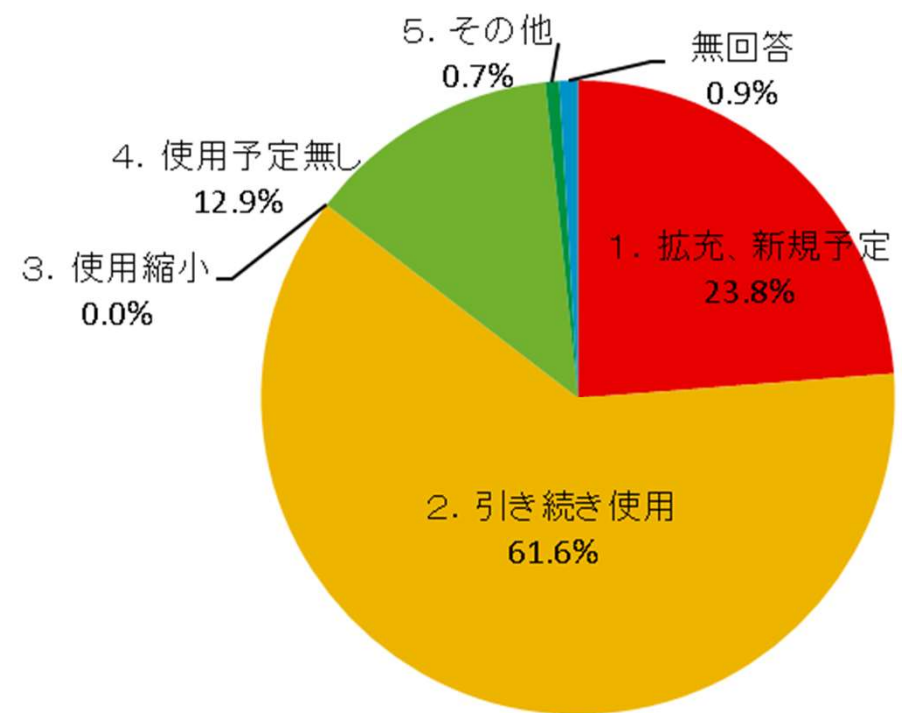
令和 4 年度

n=387



令和 3 年度

n=441

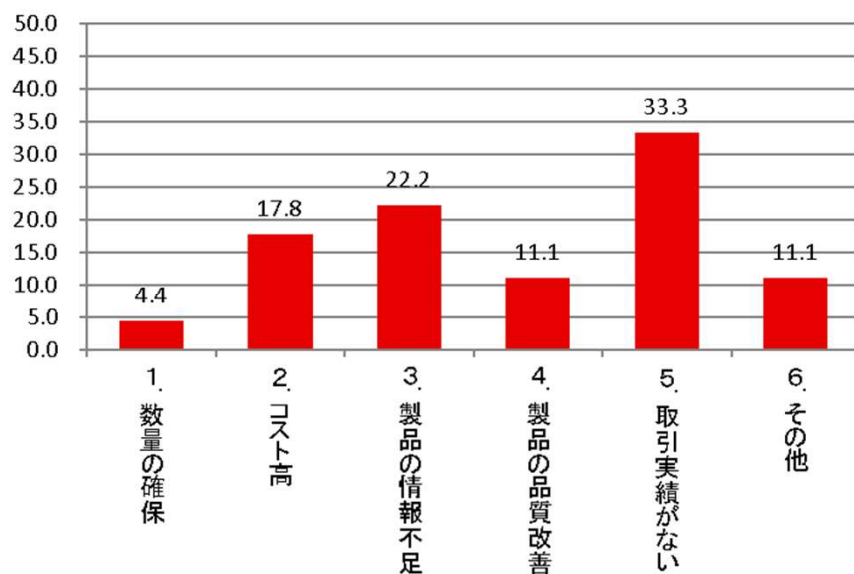


- 今後、市産品を「引き続き使用する」との回答が一番多かった。
- 「拡充、新規予定」と「引き続き使用」を合わせると87.6%である。

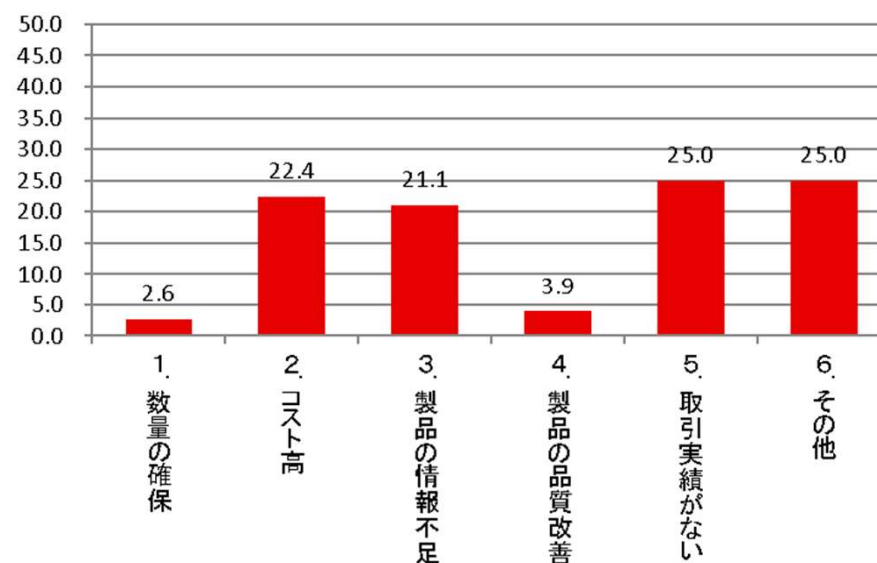
問 8 : 今後、市産品の使用を拡充、又は新規に使用する予定はありますか？

「使用予定なし」と回答した理由の割合

令和4年度



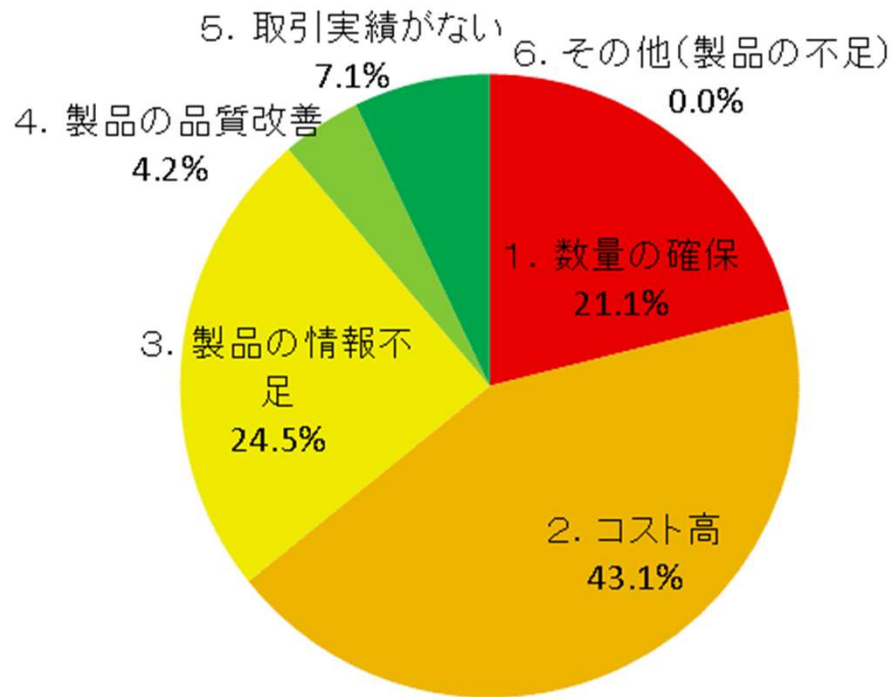
令和3年度



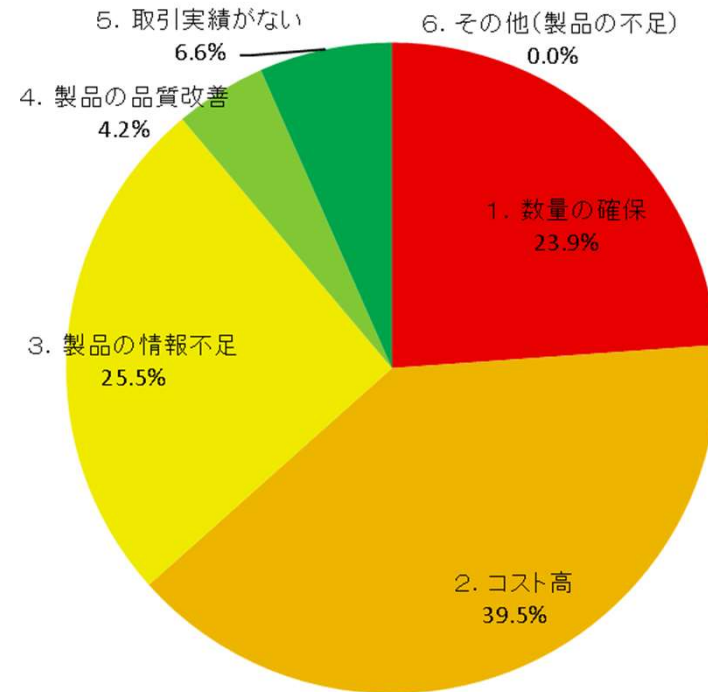
・最も割合が多かったのは、「取引実績が無い」の33.3%であった。
⇒取引実績が無くても、使用してもらえるような仕組み作りが必要。

問9：市産品の使用における課題は何ですか？（複数回答可）

令和4年度



令和3年度



・課題として多く回答があったのは、昨年度同様、「コスト高」と「製品情報の不足」であった。
⇒製品・企業の情報を増やしカバーしていく。

問10：ご意見・ご感想

【土木一式工事】

- ・二次製品の材料を扱う業者が増えれば、市産品を取り扱うことが出来ると思う。
- ・今以上に製品情報の積極的なPRや価格の改善が必要だと思う
- ・使える市産品の情報が少ないため、予め設計・積算の段階で情報を頂ければ、使用しやすくなる。

【建築一式工事】

- ・単価が安くなると使用しやすくなる。

【電気工事】

- ・設計図のメーカーリストや参考品番に市内業者の表記があれば見積にも反映できるので多少のコスト高でも使用できる
- ・製品情報をもっと知りたい。市産品の種類の拡充が必要。

【管工事】

- ・大手メーカーとの価格差が小さくなり、生産量が確保されると使用しやすい。
- ・設計図の段階でメーカーおよび品番を記入してほしい。

【造園工事】

- ・設計時の資材確保に力を入れてほしい。

【その他】

- ・専門性のある特殊工事で、安全・品質を確保するため、材工共経験のある業者や材料を選定せざるを得ない。
出来るだけ市内での調達を考えているが、難しい状態である。
- ・受注時や設計図に製品のメーカーや情報が欲しい。

今後の対応策

➤ 市産品使用率の向上

- ・川口の工業製品の品質をP Rし、市外製品より価格が高くても選ばれる体制をつくる。
- ・市が発注する全ての工事において、設計書に市産品を例示するよう引き続き努める。

➤ 工事受注業者に対する製品情報の波及

- ・市産品フェア開催時に公共工事における市産品の活用事例をパネル展示し、企業情報・製品情報をP Rする。
- ・リスト登録事業者に掲載情報の更新を促し、取引実績情報・製品情報の拡充に努め、過去に取引が無くても使用しやすい環境づくりを行う。

➤ リスト登録事業者へのアンケート結果の周知

- ・アンケート結果をリスト登録事業者に周知し、工事受注業者の傾向を情報共有する。

➤ 登録企業数及び製品情報の拡充

- ・アンケートの結果をもとに、公共工事において需要はあるが市産品リストにおける情報が乏しい製品について、当該製品を製造している市内業者を調査し、登録を促していく。